

B08 廿日市市大野第二区

代表者：森原 勝美

住 所：廿日市市対巖山1-6-15

TEL：0829-20-0294(廿日市市社会福祉協議会)

① 担当社会福祉協議会

広島市安芸区社会福祉協議会

住 所：広島市安芸区船越南3-2-16 安芸区総合福祉センター内

TEL：082-821-2501

② 地域課題の解決のための事業の名称

絵本「中山峠とトンネルものがたり」の作成

③ 事業の総予算額(助成金申請額)

600,000円(600,000円)

④ 事業の目的

絵本「中山峠とトンネルものがたり」を活用して、地域の絆の重要性を、現代に生きるあらゆる世代に認識してもらうことにより、地域の絆のさらなる強化を図ることを目的とする。

⑤ 事業の内容

1930年代の世界的大恐慌や満州事変勃発などの苦難の時代に、険しい峠道で、日用品や農作物、肥料などの運搬に苦慮していた住民が、公的助成などが一切望めなかった厳しい状況のなかで、日常生活の苦境を打開するために、一致団結して資金と労力を出し合って、峠道のある山腹に90mに及ぶトンネルを人力で完成させた。この驚嘆すべき地域の絆の物語を、小学校高学年程度の児童にも理解し、共感してもらえるように、現代に生きる児童3人が、昭和12年のトンネルを掘削した時代にタイムスリップし、その状況をつぶさに見聞し、現代に帰ってきて、それを伝える幻想的な物語の絵本とすることを企画した。

平成27年度に、地区内有志による大野第二区絵本づくり実行委員会を組織し、絵本「中山峠とトンネルものがたり」の原画を作成した。しかし、最終的な印刷・製本の資金調達ができず、未完のままに現在に至っている。そこで、平成30年度地域テーマ募金による助成で、絵本の印刷・製本を行い、絵本を完成させる。

完成した絵本は、学校、市民センター、集会所、子ども会などに配布して、広く閲覧してもらう。さらに、老人クラブ、子ども会とタイアップして、絵本読み聞かせに活用し、世代間交流を図る。

また、絵本に表現され、今も残る峠道やトンネルの現地見学ハイキングの実施、絵本に出てくる道具類を展示した民増資料館の見学会などを開催し、地域住民の交流を図る。

⑥ 備考